

留学生向け全学オリエンテーションの内容の検討と改善

国際教育交流センター教育交流部門

渡部 留美・城所 佑委

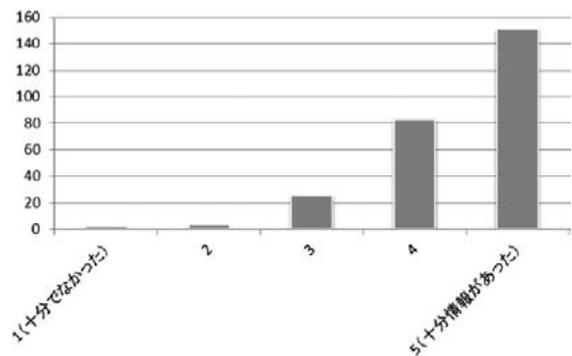
平成27年度留学生支援事業から223千円を受給し、アドバイジング部門、学生支援課と連携し、全学留学生オリエンテーションの内容改善を行った。第一に、これまでは留学生に配布する資料一式は袋に入れた状態で渡していたが、保管に不便であったため、項目別に分けてファイルにセットしたものを用意し、オリエンテーション後も必要に応じて留学生が資料を参照しやすく改善した。PPT資料の一部もハンドアウトとしてファイリングし、A4より小さいチラシやリーフレットは、クリアポケットに入れるようにした。第二に、新たに、「健康と保険について」「在留資格について」「学生団体の紹介」の項目を追加し、内容の充実を図った。それに伴い、オリエンテーション時間を従来の2時間から2時間半に拡大した。保険については、2015年1月28日の留学生教育交流実施委員会において、生協の「学生賠償責任保険」に加入することを強く推進することを全学レベルで確認したことから、保険加入について説明した。また生協の担当者にも当日来て頂き、オリエンテーション後に加入手続きができる窓口を設ける工夫をした。実際にこのシステムを導入したことで、保険の加入者が増加した。第三に、一部の項目の説明時にクリッカーを用いたクイズを導入した。クリッカーに対する学生の反応はよく、学生の集中力が増しただけでなく、記憶に残るオリエンテーション内容になったと感じる。

ガイダンス内容（午前：英語、午後：日本語で実施）

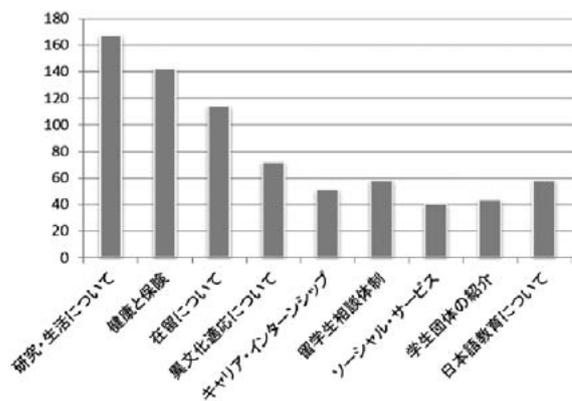
- 1) 名古屋大学における研究&日常生活
- 2) 健康と保険について
- 3) 在留資格について
- 4) 異文化適応について
- 5) キャリア・インターンシップ支援について
- 6) 留学生相談体制について
- 7) ソーシャルサービス室について
- 8) 学生団体の紹介
- 9) 日本語教育について

以下は、秋季オリエンテーションに参加した留学生に対して実施したアンケート結果の一部である。アンケート結果は、英語パート（回収172名）、日本語パート（回収111名）を合計したものである。

Q. オリエンテーションの情報は十分だったか（1～5段階で回答）



Q. オリエンテーションのどの部分が役立ったか（複数回答）



写真：全学オリエンテーションの様子

